

## 羽田 健人 選手・ウッド モハメッド サディキ 選手の紹介

大阪府三島郡島本町で生まれ育った。地元の島本町立第四小学校の1年生から島本FCに通い、フォワードとしてプレーをしていた。島本町立第一中学校時代には千里丘FCでセンターバックにコンバートし練習に励んだ。金光大阪高等学校時代はサッカー部に入学し、1年生の時に東京国体のサッカー少年男子の部(高校1年生)において準優勝を果たすことが出来た。その後関西大学に進学して大学サッカー部に入学。2回生と4回生の時に総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント大会において全国ベスト4まで勝ち上がることが出来て嬉しかった。

ここまで来た過程では多くの監督やコーチにお世話になったが、金光大阪高等学校時代の英語の教師でサッカー部のコーチをしていた清野先生には、3年間サッカーに対してだけでなく、日常生活についても親しくご指導していただいた。大学では前田監督から、「プロになれ」との厳しい指導をいただき今日の自分があると感謝しています。

大学卒業後、大分トリニータでJ2に3年間、J1で2年間、その後J1の清水エスパルスで1年プレーした後、今年からJ3のFC岐阜に加入した。

加入後のFC岐阜の印象はチームに纏まりがあって、常に全員が上に向かって努力している手応えが感じられる。石丸監督やコーチ陣の元で福田キャプテン、中村副キャプテンと共に日々の練習の質と気構えを上げて結果を積み重ねられるように取り組んでいる。競争が厳しくなる中でバラツキをなくし、着実にレベルを上げていけば必ず結果が出ると思信している。

中学校時代の選抜の同期でスコットランド・プレミアリーグや日本代表選手として活躍中の前田大然選手や、大学で1年先輩のサンフレッチェ広島や日本代表選手としても活躍中の荒木隼人選手らに負けないうように、着実に頑張っていく所存である。

2歳上の中学校教師の兄はサッカー選手として当時JFLのテゲバジャーロ宮崎でプレーしていた。両親らとFC岐阜の応援に来るのを楽しみにしてくれている。副キャプテンとしてFC岐阜を支える羽田選手の成長に是非ご期待ください。



写真: ©FC GIFU

はねだ けん と  
**羽田 健人** 選手(26歳)  
副キャプテン 身長185cm 体重80kg  
ホームタウン応援大使  
下呂市、岐南町  
ニックネーム  
ハネ

27  
DF

セネガル出身のセネガル語、フランス語、日本語を話す父と日本人の母をもち、東京都江戸川区で育った。父の勧めで週2回、公園でサッカーすることがサッカーを始めたくっかけだった。江戸川区立西小岩小学校の1年生からは母の勧めでJunsSC U-12で週5日サッカーの練習に励んだ。この時期からフォワードとしての頭角を現し始めた。

江戸川区立小岩第四中学校入学時に狭き門と呼ばれる柏レイソルU-15のセレクションに合格し技術向上に励んだ。そして日体大柏高等学校時代には柏レイソルU-18に昇格した。

U-15、U-16時代は約30名で編成される日本代表チームに選ばれ、国内でのトレーニングやトレーニングマッチに参加した。U-18時代は約20名で編成される日本代表チームに選ばれてアルゼンチン代表や韓国代表チームと日本で試合をした。また、スペイン遠征ではアメリカ代表やスウェーデン代表チームと国際試合を行った。この世代別日本代表と国際試合の経験は自身の成長に大変良い経験になった。この時の世代別日本代表選手たちの約8割がその後、Jリーグの各チームに加入していて、お互いの共通経験が今も活きていると感じている。

V・ファーレン長崎の田所選手は小学校時代の同期であり、ベガルタ仙台の安野選手はU-18日本代表の仲間など、チームが違っていてもお互いに切磋琢磨し、サッカーに励んでいる。

指導者でお世話になった方は柏レイソルU-18 藤田元監督で、中学生時代から悩んでいたサッカー技術、フィジカル、メンタルなどを幅広く鍛えていただいた。お蔭で高校3年生の全国大会では、延べ4得点を挙げられたことは忘れ得ぬ出来事であり、今も感謝している。

2/8のアウェイ開幕戦には多くのファン・サポーターが駆けつけて応援してもらい、非常にモチベーションになっている。仲間は上手い選手ばかりで、良いアドバイスをもらいながらまずはプロ初ゴールを決めたいと思っている。将来は日本代表選手になるため、頑張りますと話す彼の応援をよろしく願っています。



写真: ©FC GIFU

ウッド モハメッド  
**サディキ** 選手(19歳)  
身長187cm 体重83kg  
ホームタウン応援大使  
美濃市  
ニックネーム  
モハ

18  
FW